

屋久島 おじゃんせウェルネスセンター

「誰もが住み慣れた場所で、末永く安心して暮らしたい」
自然のリズムと調和し、自然と共に生きる



「おじゃんせ」は鹿兒島弁で「ようこそ」の意味だよ！

森の中みたくて元気が出るわ！



エントランスから中庭

強風の影響を受けにくい中庭は、朝夕、陽が降り注ぎ、太陽のリズムを感じる穏やかな空間。その中心にある井戸は人の出入りを促し、集いの場をつくる。同時に、水を汲みあげることで、土中の水と空気を動かす。植物は蒸散作用で周囲に涼気を生む。中庭自体が、自然の空調装置の一つとして動く。

通所リハビリセンター(デイケアセンター)

滝のような雨を分散し、深い軒から雨落ちへと流す切妻屋根。その中で人々は雨の風情を感じながら、種やかに過ごす。室内には、屋久島地形の柱や床、地元土を使った土壁。地元の職人の手作業と、屋久島の自然のゆらぎを感じる素材で構成される。

障がい者就労レストラン

外庭にも内庭にも開いたキッチンカウンターは、作業中も外と繋がり、心地よさを感じることができる。秋〜春にかけては夕方に室内に陽射しが降り注ぎ、体内リズムを種やかに整えていく。奥行約3m、一周120mある外回廊を有効に使って、食材を干す・販売するなどの活動が可能。多様な年齢、多様な人々の交流の拠点。

通所リハビリセンターの外回廊

東に面する通所リハビリセンターでは、朝日を浴びて体内時計をリセット。外回廊ではヨガや歩行訓練、外庭でのアーシングやウォーキングなど、自然をリハビリメニューに取り組んだ活動を行う。健康な地が生まみ込み空気や風、陽射しの心地よさを感じながら、健やかに身体と心を回復していく。



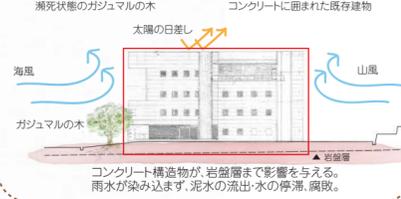
環境の建築

人を含む生物の命の実体はそのリズムにある。生物の体内リズムも環境の中の様々なリズムも基本はサーカディアンリズムを元にして網の目の様にすべてが関連づけられている。地球が太陽の周りで円運動を行い、土壌が円運動の周期的エネルギーの変動に寄り添って生態系を作り出す。私たち人間も、その生態系の一要素だから両者のリズムは同調している。建築は私たちが生み出したいわば乗り物だが、自然のリズムに寄り添って私たちに健康に導いてくれる乗り物とはどういうものだろう。それはおそろそ大に埋められた日時計・羅針盤のように、太陽と大地の関係を生み出す拠点として機能し、人工環境や社会システムの中で疲弊した私たちに自然の正しいリズムに同調させてくれるものであろう。そんな思いをこの建築の形に込めた。

大地とつながる建築

元来この地に備わっていた屋久島の森の循環機能を回復させ、建物与自然と同調しながら、人々を繋ぐ。訪れる人々は屋久島の自然の恵みと、ここで生まれるコミュニティから、心身を癒し、健康を回復させてゆく。そのための持続可能な環境づくりとして、この地の地盤を観察し、土中環境から整える建築計画としている。

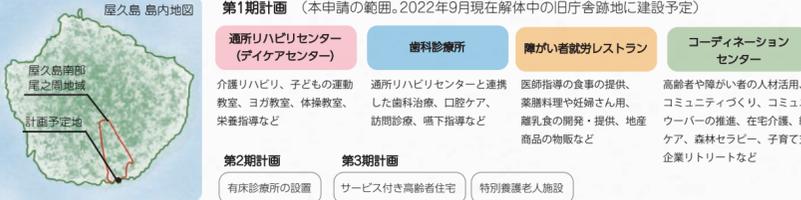
現在の敷地状況



水と空気が停滞している現在の無機的な土中を、水と空気が循環する健康な土中に改善し、育てていく。

人と自然の再生と世代を超えた暮らしを創造する 屋久島南部の医療・介護・福祉拠点

古代の森を抱く屋久島。この豊かな自然の恵みを体感する建築を通して、人間の潜在能力を回復することを目指す、医療・介護・福祉施設。大きな医療施設のない屋久島南部地域で、地域住民が安心して健康に過ごすことのできる拠点をつくる。本計画は、3期10年間整備計画の第1期に該当する。高齢者化社会の健康寿命の延伸のためのフレイル予防、サルコペニア予防を行いながら、建物だけでなく大地そのものがリハビリの場となる。さらに、世代・地域・島内・島外の人々を繋ぐ交流拠点となることを目的とする。



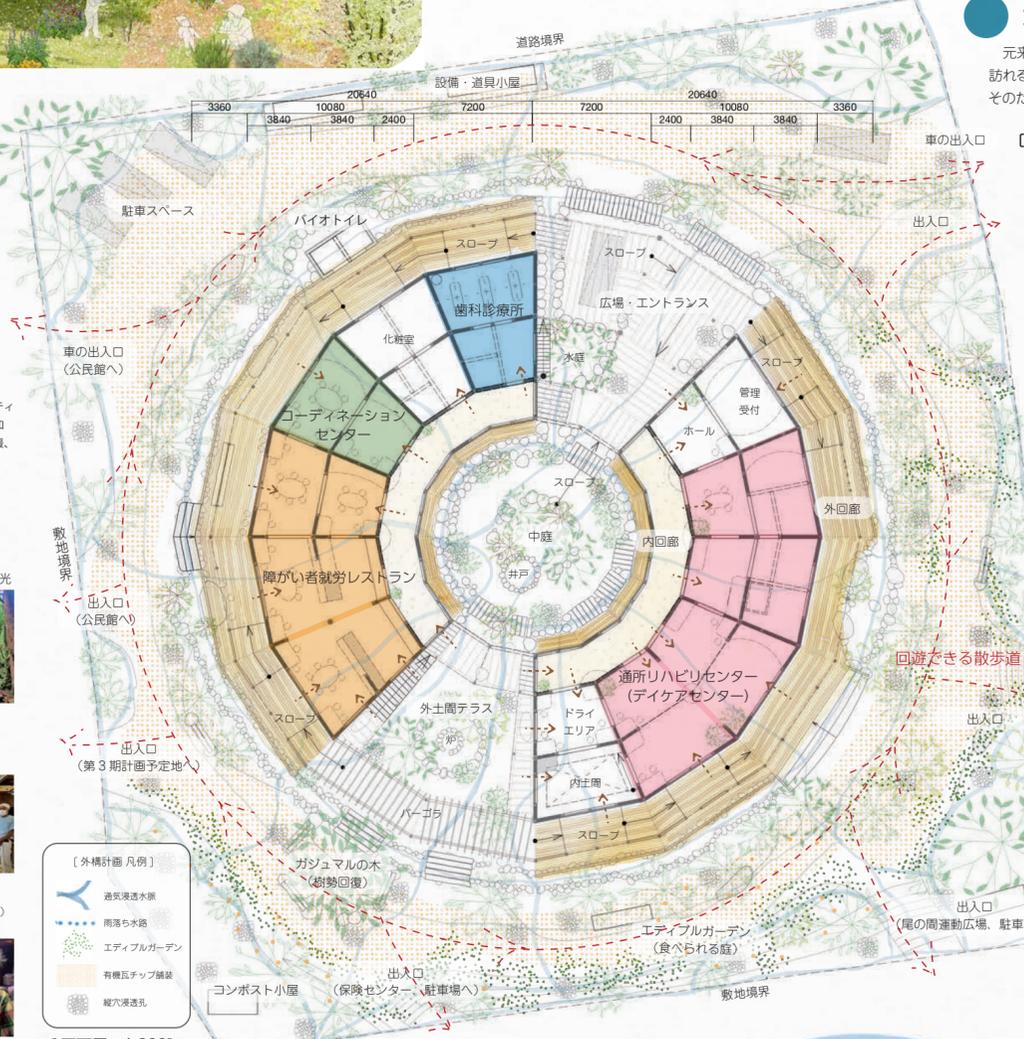
施設の運営にあたり、地域の人々と連携が取れる体制を構築

尾之間診療所での診察、保険センターでの予防接種、日常の行政手続き、障がい者施設が企画する新商品の開発と販売、森林ガイドによる森林セラピーの他、町役場とも連携。災害時の対応なども考慮しながら計画を進めている。



【配置図 1:1500】

山、里のミネラルを含む清流が川や伏流水を通して海へ。漁場を豊かにする。



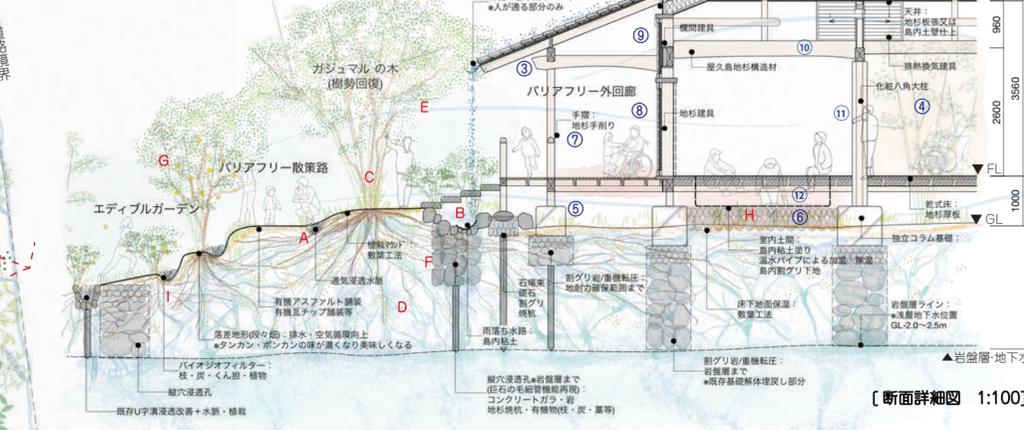
【平面図 1:300】

【外構(地中に水と空気を循環させる)】

- A 水はけを良くし、水と空気の通り道をつくる通気浸透水路
- B 雨水を受け止め、地中へ浸透させる雨落ち水路
- C 水を取り上げ、健康な根を張り巡らし、地表を安定させる樹木
- D 土中環境を健全にする多様な菌糸類
- E 木陰をつくり、蒸散作用で建物周囲に涼気を生む植物
- F 地下水脈へと深く染み込み、浸透させる縦穴浸透孔
- G 自然のめぐみに触れる食べられる庭
- H 床下と水と空気を動かし、滞りをなくする人の動き、樹木、車の根
- I 雨水、汚水を濾過・浸透させ、農作物を育てるバイオジオフィルター

【建物(屋久島の気候風土にあった建築)】

- ① 強風を分散する円環の切妻屋根
- ② 多孔質で雨を保持し、太陽熱をやわらげる瓦
- ③ 雨風・夏の日光から建物と暮らしを守る深い軒
- ④ 調湿・蓄熱・防湿・手触り・香り・遮光の地材の床・壁・天井
- ⑤ 土壁
- ⑥ 床下の通風を促す独立基礎形状
- ⑦ 内回廊と土間を暖める薪ボイラーなどの熱(熱対策にも活用)
- ⑧ 断熱・断水・断気・断音の柱・梁の配置・大きさ
- ⑨ 森の木のようなランダムで多様な柱・梁の配置・大きさ
- ⑩ 雨や風の振動を大地に伝える八角大柱
- ⑪ 大地とつながり、気軽にアーシングができる土間



【断面詳細図 1:100】

屋久島の流域生態系を育む暮らし

山に10日、海に10日、野に10日。屋久島の先人が営んできた生活。山、海、野の恵みを、豊かな水の循環と共に生かし、分け合い育む。身近な土・水・火・木と触れて、土も育む。山・川・海と繋がる、世代と地域を超えた結作業のある日常生活。

- <建築概要>
- 敷地面積: 約3300m²
 - 延床面積: 約930m²
 - 構造: 木造独立基礎
 - 規模: 地上1階建て
- <設備概要>
- 排水: 浄化槽・複合発酵浄化槽
 - 給水: 水道・井戸
 - 給湯: 灯油給湯器・太陽熱温水器・薪ボイラー
 - 電気: 高圧引込・太陽光発電パネル・蓄電池
 - 空調: エアコン・温水床暖房
 - 環境設備: バイオトイレ・エディブルガーデン・バイオジオフィルター



【立断面図 1:300】